

天平二十年春三月二十三日、左大臣橘家
の使者造酒司令史田辺福麻呂に守大伴宿
禰家持の館に饗す。ここに新しき歌を作り、
併せて便ち古詠を誦み、各心緒を述ぶ。

四〇三二番

奈^{なご}呉^{うみ}の海^{うみ}に 舟^{ふね}しまし貸^かせ 沖^{おき}に出^いでて 波^{なみ}立^たち
来^くやと 見^みて帰^{かへ}り来^こむ